

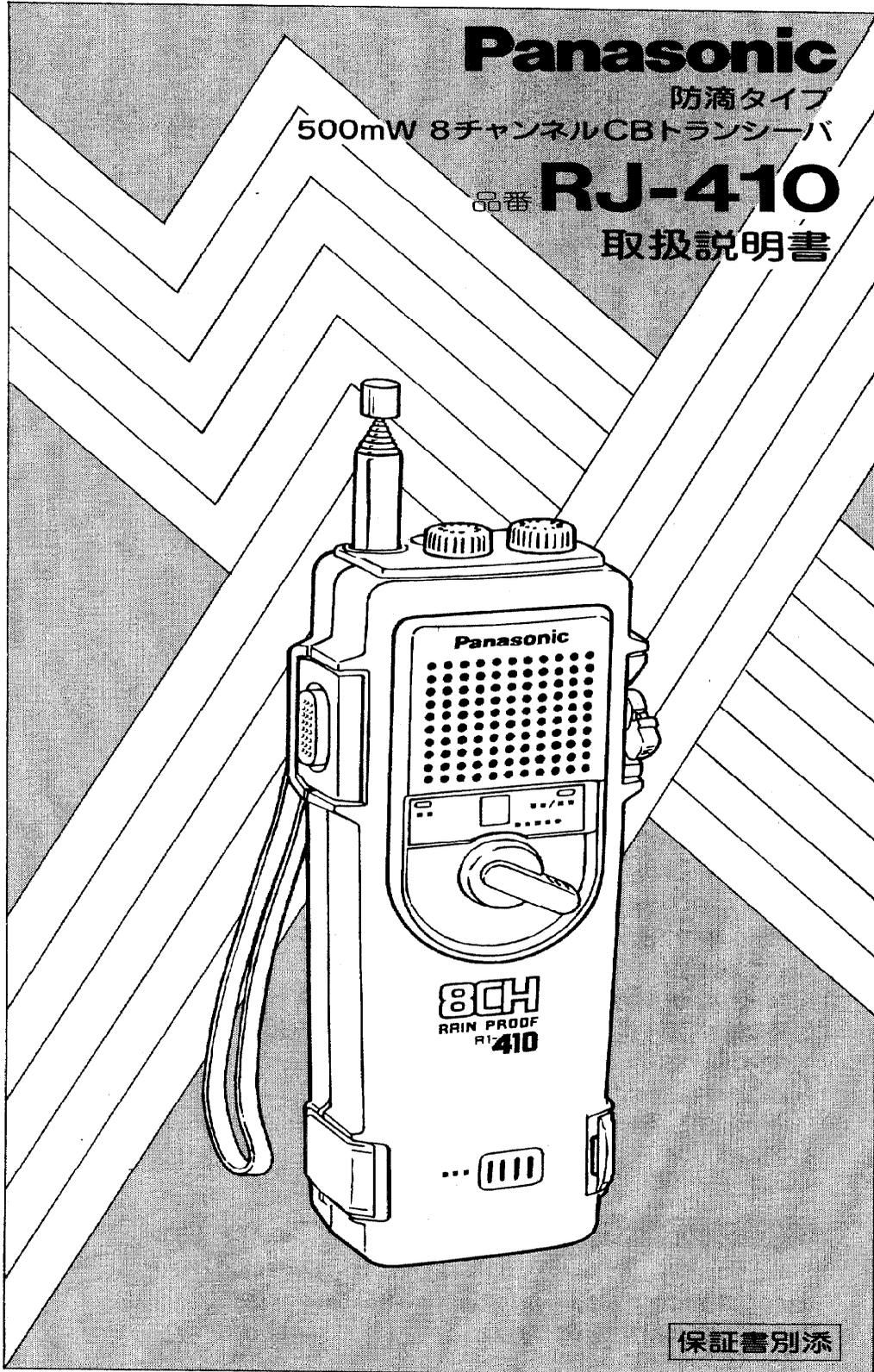
# Panasonic

防滴タイプ

500mW 8チャンネルCBトランシーバ

品番 **RJ-410**

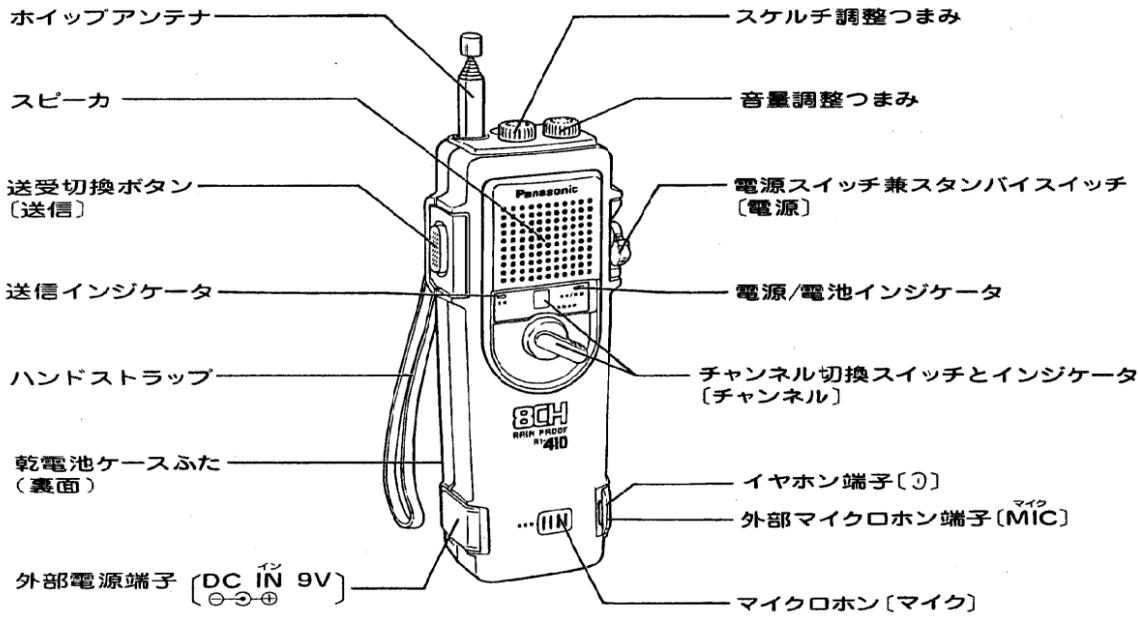
取扱説明書



保証書別添

- 取扱説明書と保証書は、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

## 各部の名称



## 操作順序

### 1. 使用するチャンネル(周波数)に切替える。

通話しようとする相手局の周波数に合わせて、チャンネル切換スイッチを切替えてください。(相手局のチャンネルと同一でないときは通話できません) また、混信や妨害電波のある場合は、相手局と合意の上、チャンネルを切替えてください。

- チャンネルと周波数の関係は、本機後面の銘板にも表示しています。

### 2. 電源を入れる。

電源スイッチを“開”表示方向に押しロック機構を解除しながら、スイッチを“近”位置にしてください。

- 電源/電池インジケータが点灯します。
- 遠距離で通話する場合は“遠”位置にしてください。相手局に対して明瞭度を上げることができます。(近距離通話で“遠”位置にした場合、周囲雑音等により明瞭度が低下することがあります。)

### 3. アンテナを伸ばす。

ホイップアンテナをいっばいに引伸ばしてください。

〔ご注意〕本機の性能を十分発揮させるために、アンテナはできるだけ垂直に立ててお使いください。

### 4. 送信するとき。

送受切換ボタンを押しますと、送信インジケータが点灯し送信状態になります。この状態でマイクロホンに向かって話してください。マイクロホンと口との間隔は約5cm離してください。

〔ご注意〕送信時は音量調整つまみの位置に関係なく、一定の状態電波が発射されます。

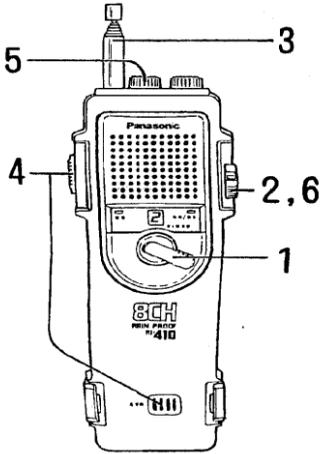
### 5. 受信するとき。

- 1)スケルチ調整つまみを“0”位置にします。
- 2)送受切換ボタン押すのをやめてください。これで受信状態になりますから、音量調整つまみで適当な音量に調整してください。

### 6. 電源を切る。

使用後は電源スイッチを“閉”位置にしますと、自動的にロック機構が動きま

- 電源/電池インジケータが消えます。



CH-1(チャンネル1)	…26.958MHz
CH-2(チャンネル2)	…26.976MHz
CH-3(チャンネル3)	…27.040MHz
CH-4(チャンネル4)	…27.060MHz
CH-5(チャンネル5)	…27.088MHz
CH-6(チャンネル6)	…27.112MHz
CH-7(チャンネル7)	…27.120MHz
CH-8(チャンネル8)	…27.144MHz

### ■スケルチを使用するとき

スケルチとは受信状態で相手局の信号を待っている際に出る耳ざわりな雑音を無くするためのものですから、送信時には関係ありません。

- 1)本機を受信状態にし、スケルチ調整つまみを“0”位置(左へいっばいに回す)にしてください。
- 2)相手局から信号を受けていないときを待って、スケルチ調整つまみを徐々に右へ回してください。少しずつ雑音が小さくなりますから、雑音が消えた位置で止め、以後の通話を行なってください。

〔ご注意〕スケルチ調整つまみを右へ回しすぎると、弱い電波が受信できなくなりますから注意深く調整してください。

- 通話中に再び雑音が出てきた場合は、以上の操作を繰り返さない、できるだけ雑音の少ない状態で通話してください。

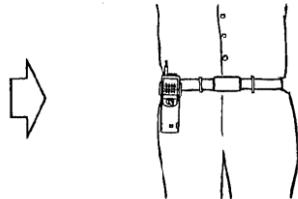
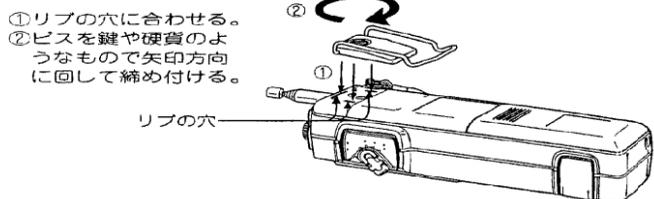
### ■スタンバイスイッチを使用するとき

相手局からの呼び出しを待つ状態で、電波が入ってきたとき呼び出しがはっきりわかるように「ブルル、ブルル、…」という音が出るようになっています。

- 1)電源スイッチを“待受”の位置にします。
  - 「ブルル、ブルル、…」という音が鳴り続けます。
- 2)「ブルル、ブルル、…」という音が消えるところまでスケルチ調整つまみを右に回します。
  - これで待ち受けの状態になります。
- 3)電波を受信しますと、「ブルル、ブルル、…」という音がなりますので、電源スイッチを“近”(又は“遠”)位置にし、受信状態で相手局からの電波であることがはっきりしてから発信してください。

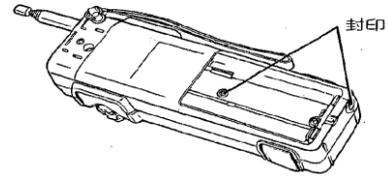
〔ご注意〕“待受”の位置では、送受切換スイッチを押しても送信はできません。必ず、“近”(又は“遠”)位置に切替えて送信してください。

## ベルトハンガーの取付けかた



## 使用上のご注意

- 本機は郵政省の技術基準適合証明を受けて発売していますから、本機の封印を破って改造しますと、電波法の規定により使用できなくなります。



- 本機に別のアンテナやアース、増幅器等を接続して使用すると、電波法により罰せられます。
- 他人の通信を聞いてこれを漏らしたり、窃用しないでください。
- 旅客用航空機の中では使用しないでください。
- テレビやラジオその他、無線局の近くでは妨害を与えることがありますので、使用しないでください。
- 途中に障害物がありますと、通話距離が大幅に短くなります。また、自動車が頻繁に走る道路や電車の架線付近で使用しますと、外来雑音を拾い明瞭な通話を妨げますから、できるだけこのような場所は避けてください。
- 乾電池が消耗してきますと、電波の到達距離が短くなり、受信時の音質も悪くなりますからなるべく早く新しい乾電池と交換してください。また、本機を長時間ご使用にならないときや、いつもACアダプタを使ってAC(交流)電源で使用される場合は、内蔵の乾電池を取出しておいてください。乾電池が古くなりますと、漏液して本機をいためるおそれがあります。
- 本機は夏季の閉め切った自動車内(100℃に達することがある)や、長時間直射日光の当たる所、暖房器などの近くで使用したり、放置しないでください。60℃以上の高温になるとキャビネットが変形・変色したり、故障することがあります。
- 本機が汚れたときは、乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは布を水でしめらせるか、石けん水を少し布につけてふいてください。
- ベンジンやアルコール、シンナーなどの溶剤でふいたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質する場合がありますので、使用しないでください。
- 故障した場合は、内部に手をふれずに、お求めの販売店に修理をご依頼ください。

## こんな使いかたもできます!!

本機は防滴設計のため、各端子にカバーを付けています。接続しないときは、確実にカバーでふさいでおいてください。

### ■ヘッドセットを使用するとき

騒音の多い場所や他人に聞かれたくないようなときは、レシーバとマイクロホンが一体となっているヘッドセット(RP-HM2,別売り)のご使用をおすすめします。(指定以外のヘッドセットは使用しないでください。)

- 1)ヘッドセットのプラグを、本機の外部マイクロホン端子とイヤホン端子の両方へ差し込んでください。自動的に本機のマイクロホンおよびスピーカーが動かなくなり、ヘッドセットに切り替わります。
- 2)送受切換ボタンを操作して発信してください。



### ■AC(交流)電源を使用するとき

ご家庭や会社の事務所など、一カ所に固定して使用するときは、たいへん経済的な外部電源のご使用をおすすめします。

ACアダプタ(RP-AC901J,別売り)をお求めのうえ、本機の外部電源端子へつないでください。(指定以外のACアダプタは使用しないでください。)

自動的に内蔵の電池接続が切れます。

### ■自動車電源を使用するとき

カーバッテリーアダプタ(RD-9380A,別売り)をお求めのうえ、本機の外部電源端子と自動車のシガレットライターソケットに接続してください。(指定以外のカーバッテリーアダプタは使用しないでください。)

自動的に内蔵の電池接続が切れ、自動車電源に切り替わります。(9Vに切替えてご使用ください。)

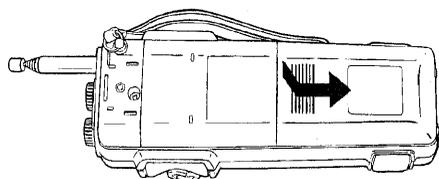
### 〔ご注意〕

本機はマイコンを使用していますので、外部電源等の電圧が不安定になると“ビッ、ビッ”音が鳴り自動的に動作が停止する場合があります。

このような場合は、電源スイッチを“開”位置にして再度“遠”か“近”位置にしてください。

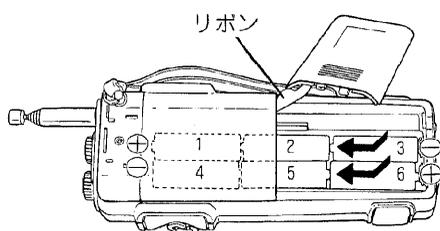
## 乾電池の入れかた

1. 乾電池ケースふたを開けます。



2. 付属の乾電池(6個)を番号順に正しく入れます。

使用乾電池：単三形(R6P/LR6) 6個



極性(⊕⊖)を間違えないように入れる

3. 乾電池ケースふたをもとどおり閉めます。
    - 乾電池ケースふたに付いているリボンをはさまないように閉めてください。
- 乾電池の取出しかた  
“6”の乾電池を⊖側に押付けながら取ります。

### 乾電池使用上のご注意

乾電池は使いかたを誤ると破裂や破損、液もれのおそれがあります。

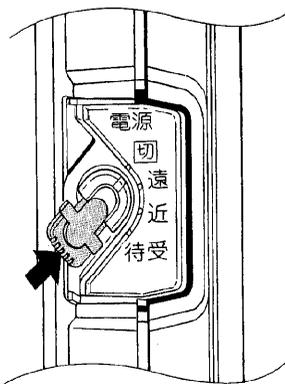
次のことは必ずお守りください。

1. 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
2. 同じ種類の乾電池を使用してください。
3. 乾電池は充電式ではありません。
4. 火の中への投入や、ショート(短絡)、分解、加熱しないでください。
5. ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
6. 使用しないときは電源スイッチを確実に切ってください。

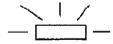
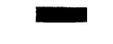
## 乾電池の取替時期

乾電池が消耗してきますと、電波の到達距離が短くなり、本機の性能を十分に発揮できなくなります。次の順序で乾電池の消耗度を調べて、新しい乾電池と交換してください。

1. 電源スイッチを矢印の方向に押しながら“遠”位置に切換えてください。
  - 電源スイッチは、知らない間に誤って電源が入り乾電池を消耗することのない誤動作防止のロック機構付です。電源を入れるときは、電源スイッチを矢印の方向に押しながら回してください。



2. 電源/電池インジケータの点灯状態で消耗度を確認してください。

明るく点灯している	 電源/電池	正常ですから、そのまま使えます。
消えている(点滅している)	 電源/電池	消耗していますから全部新しい乾電池と交換してください。

### ■ 乾電池の持続時間

持続時間は、ナショナルネオハイトップ単三形(R6P)を使って、1分送信、1分受信、8分待受けの割合で繰返し連続使用しますと約5時間です。

なお、乾電池の特性上連続して使用するよりも間をおきますと乾電池の寿命を延ばすことができます。

## 本機の特長

- 8チャンネル内蔵
- 500mW空中線電力
- 安定した送・受信が可能なPLLシンセサイザ回路設計
- ダブルスーパーヘテロダイン方式の高感度、高選択度設計
- 耳ざわりな雑音をカットするスケルチコントロール付
- 待受時に便利なスタンバイ機構
- パルス性の雑音を少なくするANL(自動雑音制限)回路
- \*防滴タイプ設計
- 電源スイッチロック機構付
- 電源/電池インジケータ付
- 外部電源端子付

\*防滴タイプ…完全防水型ではありませんから、ご使用後は、速やかに内部の電池を取り出し、乾いた布でふいておいてください。

## 定 格

電波の形式：A3E

周波数：26.968MHz  
26.976MHz  
27.040MHz  
27.080MHz  
27.088MHz  
27.112MHz  
27.120MHz  
27.144MHz } 8波内蔵

空中線電力：500mW

受信出力：実用最大出力300mW  
(EIAJ/DC)

使用半導体：9-IC, 26-TR, 1-FET

スピーカ：4.5cm, 8Ω

アンテナ長さ：全長1362mm

電源：乾電池単三形(R6P/LR6)  
6個, 9V 外部電源DC 9V

乾電池の持続時間：ナショナルネオハイトップ単三形(R6P)を使って、1分送信、1分受信、8分待受けの割合で繰り返し連続使用しますと約5時間です。

端子：イヤホン端子  
マイクロホン端子  
外部電源端子

キャビネット寸法：幅71×高さ194×奥行45(mm)  
(突起物を含まず)

重量：約450g(乾電池含む)

★この定格は性能向上のため変更することがあります。

## 利用のいろいろ

### 業務連絡用として……

- 工場や土木建築現場での連絡に
- 集会場での連絡に
- 事務所と外出先での連絡に
- 警備や巡回のときの連絡に

### レジャー・スポーツ用として……

- ドライブやハイキングのお供に
  - 登山やスキーのお供に
  - 団体旅行のお供に
  - 競技場での連絡に
- その他いろいろな使いかたができます。

## 便利メモ (おぼえのため記入されると便利です。)

ご購入年月日	年 月 日	品番	RJ-410
ご購入店名	電話 ( )		—
最寄りのご相談窓口	電話 ( )		—

松下電器産業株式会社 ゼネラルオーディオ事業部  
音響サービス部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号

☎(06)909-1021

RQF2842ZA S0288V0

このたびはパナソニックトランシーバをお求めいただきましてまことにありがとうございます。

## 付属品

- 乾電池〔単三形〕…………… 6
- イヤホン…………… 1
- キャリングケース…………… 1
- ベルトハンガー…………… 1

## 別売り品

- ヘッドセット…………… (RP-HM2)
  - ⊕ ACアダプタ…………… (RP-AC901J)
  - カーバッテリーアダプタ…………… (RD-9380A)
- 〔⊕は補修部品扱いです。〕

## アフターサービスについて

### 1. 保証書 (別に添付してあります。)

保証書は必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間—ご購入日から1年間。

### 2. 修理を依頼される時

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、直らないときには次の処置をしてください。

#### ● 保証期間中は

おそれ入りますが、製品に保証書を添えて、お求めの販売店までご持参ください。

保証書の規定に従って販売店で修理させていただきます。

#### ● 保証期間が過ぎているときは

お求めの販売店に、まずご相談ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 3. 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品 (機能維持のために必要な部品) の最低保有期間は、製造打切り後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

### 4. アフターサービス等について、おわかりにならないとき

お求めの販売店または最寄りの「ご相談窓口」 (別紙ご参照) にお問合わせください。